

令和3年度の決算を報告します

9月に開催された市議会において、令和3年度の一般会計と特別会計(7会計)、水道事業会計、下水道事業会計合わせて10会計の決算が認定されました。今回は、その内容についてお知らせします。

▼一般会計

令和3年度の一般会計の決算額は、歳入が472億121万円(対前年度比9・6%減)、歳出が452億8,732万円(対前年度比11・5%減)で

差引額は前年度比79・7%増の19億1,389万円です。令和4年度へ繰り越す収入のうち、市税など市の自主的な収入である自主財源は176億7,632万円(対前年度比11・5%減)で

96万円(37・4%)、国や県から交付される地方交付税や国庫・県支出金、市の借金である市債などの依存財源は295億2,425万円(62・6%)でした。なお、財政調整基金の取り崩しは行いませんでした。

歳出は、民生費が143億7,084万円(31・7%)、総務費が67億3,807万円(14・9%)、公債費が62億8,635万円(13・9%)、衛生費が49億3,206万円(10・9%)、8,635万円(13・9%)、衛生費が49億3,206万円(10・9%)などの順となりました。

▼特別会計

令和3年度の特別会計(7会計)の決算額は、歳入が182億3,836万円(対前年度比3・0%の増)、歳出が177億2,561万円(対前年度比1・2%の増となりました)。

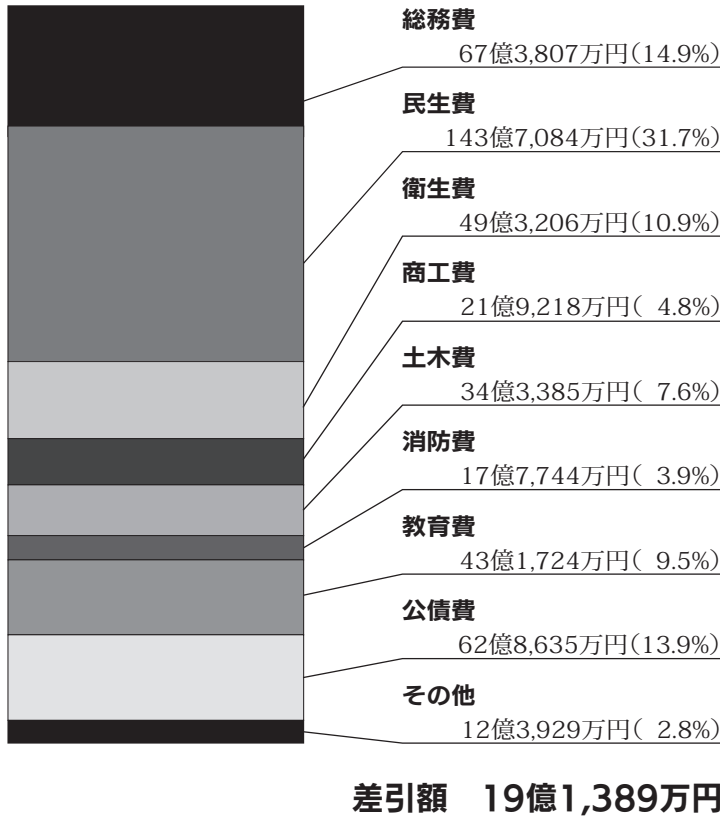
差引額の5億1,275万円は令和4年度へ繰り越すとなります。

▼水道事業会計

令和3年度の収益的収支における収入は20億1,893万円(消費税込み)、支出は19億5,097万円(消費税込み)で、差し引き6,796万円となり、消費税を抜いた純利益は320万円となりました。

資本的収支における収入は4億8,527万円、支出は13億4,384万円(消費税込み)でした。差し引き8億5,857万円の不足は過年度分損益勘定留保資金(※1)などで補てんしました。

歳出 452億8,732万円



水道事業会計決算額

	収入		支出		差引額
収益的収支(※2)	水道料金	16億7,849万円	借入金の利息返済	1億1,416万円	
	その他	3億4,044万円	減価償却費	9億9,158万円	
			その他	8億4,523万円	
	合計	20億1,893万円	合計	19億5,097万円	6,796万円(※4)
資本的収支(※3)	国などからの補助金	1億 839万円	施設などの整備費用	7億 61万円	
	国などからの借入金	3億7,310万円	借入金の元金返済	6億4,323万円	
	その他	378万円			
	合計	4億8,527万円	合計	13億4,384万円	▲8億5,857万円(※4)

※1 損益勘定留保資金…減価償却費など現金支出を伴わない費用

※2 収益的収支…事業運営を目的とした収入・支出のこと

※3 資本的収支…施設整備を目的とした収入・支出のこと

※4 ▲はマイナス、すべて消費税込みの金額

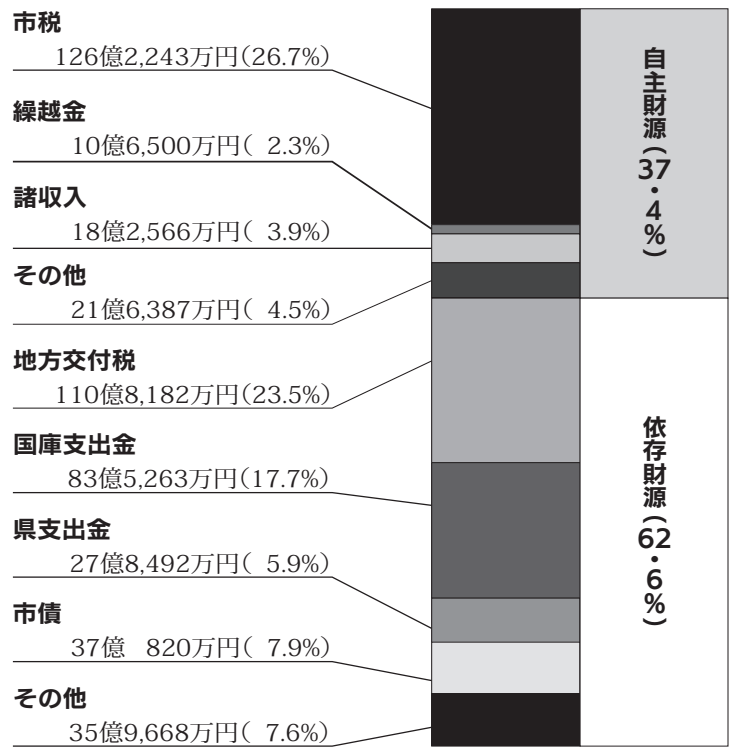
1人あたりに使われたお金の内訳

使われたお金を市民1人あたりに分けてみると57万8,286円で、内訳は下のとおりです。
※令和4年3月31日現在の住民基本台帳人口7万8,313人で計算しています

総務費 86,040円	企画や税金、新型コロナウイルス感染症対策などの事務に関する経費
民生費 183,505円	子どもや高齢者、障がいのある方などを援助するための経費
衛生費 62,979円	市民の皆さんの健康を守ったり、ごみを処理したりするための経費
商工費 27,992円	商工業の支援や育成、観光施設の整備を行うための経費
土木費 43,848円	道路や市街地、市営住宅などの整備や管理をするための経費
消防費 22,697円	消防活動や防火水槽の設置などを行うための経費
教育費 55,128円	学校運営や社会教育、文化・スポーツを充実させるための経費
公債費 80,272円	借り入れをした市債の元金や利子の返済金
その他 15,825円	議会費、労働費、農林水産業費など

一般会計決算額

歳入 472億 121万円



特別会計決算額

事業	歳入	歳出	差引額
国民健康保険事業	92億3,623万円	90億 746万円	2億2,877万円
後期高齢者医療事業	11億5,401万円	11億5,364万円	37万円
介護保険事業	75億6,138万円	72億8,940万円	2億7,198万円
診療所事業	1億4,770万円	1億3,956万円	814万円
温泉事業	6,925万円	6,763万円	162万円
銅山観光事業	6,979万円	6,792万円	187万円
公共用地先行取得事業	0円	0円	0円
合計	182億3,836万円	177億2,561万円	5億1,275万円

▼下水道事業会計
令和3年度の収益的収支における収入は26億6,918万円(消費税込み)、支出は22億8,843万円(消費税込み)で、差し引き3億8,075万円となり、消費税を抜いた純利益は3億6,431万円となりました。
資本的収支における収入は8億1,979万円、支出は16億8,338万円(消費税込み)でした。差し引き8億6,359万円の不足は当年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。

下水道事業会計決算額

	収入	支出	差引額	
収益的収支(※2)	下水道料金	11億1,161万円	借入金の利息返済	1億6,393万円
	その他	15億5,757万円	減価償却費	12億 438万円
			その他	9億2,012万円
	合計	26億6,918万円	合計	22億8,843万円
資本的収支(※3)	国などからの補助金	7,276万円	施設などの整備費用	3億8,342万円
	国などからの借入金	5億1,210万円	借入金の元金返済	12億9,996万円
	その他	2億3,493万円		
	合計	8億1,979万円	合計	16億8,338万円
			▲8億6,359万円(※4)	

くわしくは… 一般会計と特別会計について… 財政課 ☎0288-21-5162
水道事業会計について… 水道課 ☎0288-21-4532
下水道事業会計について… 下水道課 ☎0288-21-5150